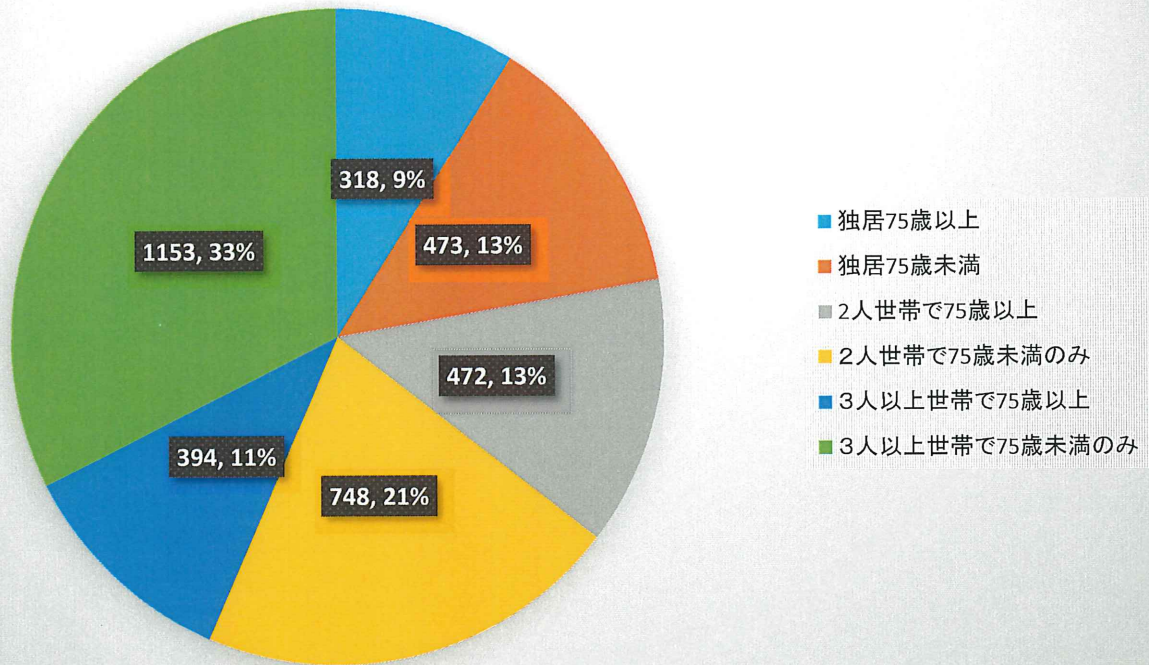


1 自治会別の回収状況

地区名/分類	対家世帯数(配布数)	回答世帯数	1人世帯		2人世帯で年長者が		3人以上世帯で年長者が		回収率(%)
			75歳以上	75歳未満	75歳以上	75歳未満	75歳以上	75歳未満	
坪の上	180	103	1	8	9	19	12	54	57.2%
平尾	176	157	10	8	20	26	17	76	89.2%
長瀬	290	226	14	15	25	46	27	96	77.9%
小里	150	118	9	16	9	17	22	46	78.7%
仲田代	81	61	4	4	6	11	8	28	75.3%
上淵	23	22			2	3	12	4	95.7%
城北	205	151	24	14	26	15	25	46	73.7%
城北県営	360	210	66	85	13	28	6	12	58.3%
上高木	802	513	34	60	74	119	69	157	64.0%
川原屋敷	730	504	33	78	74	136	35	148	69.0%
下高木	400	207	14	17	35	50	24	67	51.8%
寄人	510	352	25	45	49	92	33	108	69.0%
東高木	905	511	48	61	67	97	56	182	56.5%
辻	558	392	36	41	62	85	47	121	70.3%
日の出	75	35		21	1	4	1	8	46.7%
			独居75歳以上	独居75歳未満	2人世帯で75歳以上	2人世帯で75歳未満	3人以上世帯75歳以上	3人以上世帯75歳未満	回収率(%)
合計	5445	3562	318	473	472	748	394	1153	65.4%

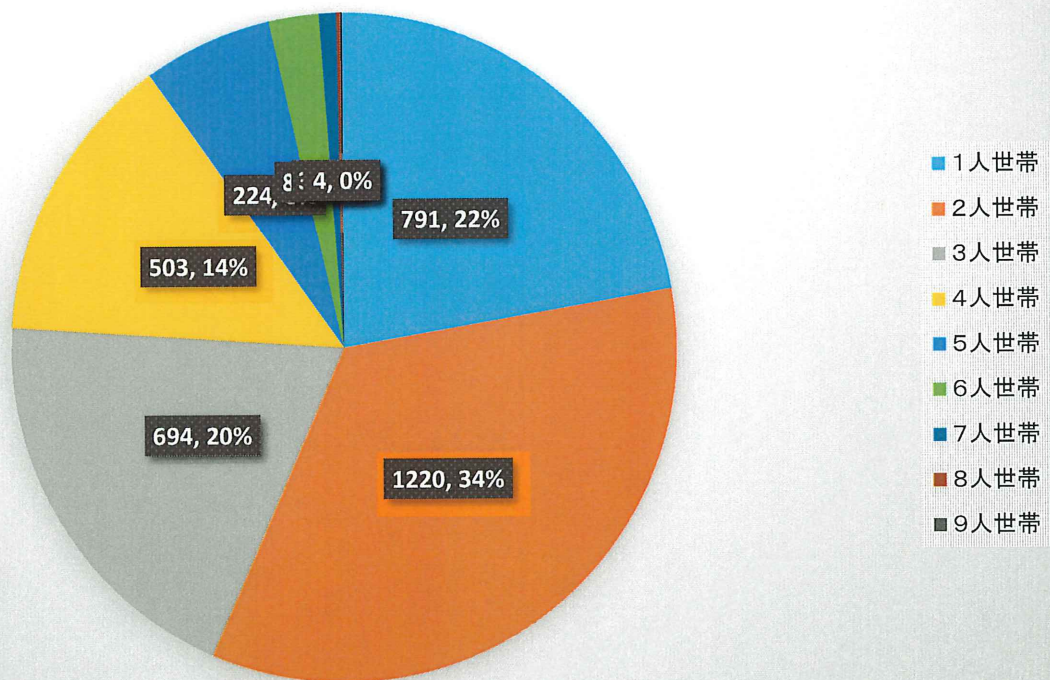
世帯規模別に75歳以上・未満に分けた世帯数



2 自治会別の世帯人員別世帯数

地区名/分類	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯	6人世帯	7人世帯	8人世帯	9人世帯
坪の上	9	28	28	18	11	6	3		
平尾	18	46	29	39	17	5	3		
長瀬	29	71	40	47	21	9	4		2
小里	25	26	29	29	7	1	2		
仲田代	8	17	11	13	12				
上瀬		5	5	5	1	2	1	1	1
城北	38	41	33	22	11	4	1		
城北県営	151	41	11	7					
上高木	94	193	117	62	27	12	7		1
川原屋敷	111	210	91	56	24	10	2		
下高木	31	85	42	32	13	3		1	
寄人	70	141	66	43	19	10	3		
東高木	109	164	112	76	33	12	2	3	
辻	77	147	76	51	26	12	2	1	
日の出	21	5	4	3	2				
	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯	6人世帯	7人世帯	8人世帯	9人世帯
合計 3557	791	1220	694	503	224	86	30	6	4

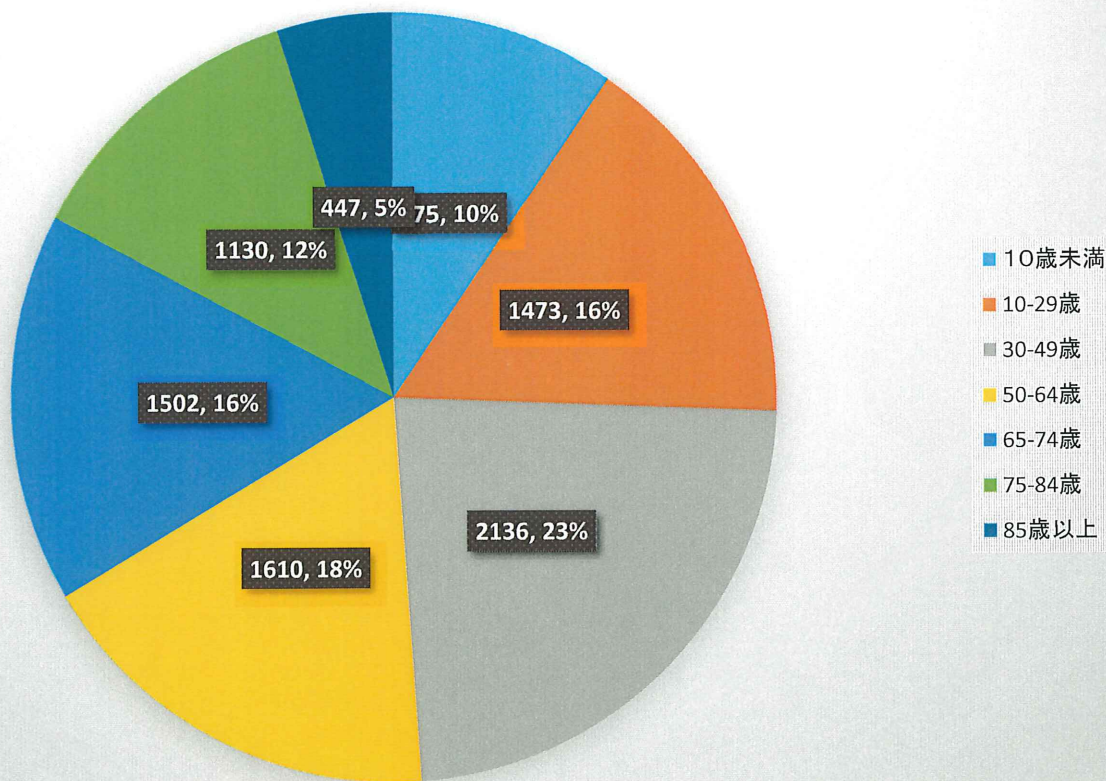
世帯人数別の世帯数



3 自治会別の年齢区分別人数 (年齢区分に10~20年分の違いあり)

地区名/分類	10歳未満	10-29歳	30-49歳	50-64歳	65-74歳	75-84歳	85歳以上	再掲65以上	再掲75以上
坪の上	43	84	86	54	32	22	11	65	33
平尾	72	91	140	64	58	38	20	116	58
長瀬	104	114	206	86	90	52	31	173	83
小里	49	38	94	43	58	36	14	108	50
仲田代	41	20	52	35	16	16	6	38	22
上淵	8	8	22	19	12	11	7	30	18
城北	23	69	69	85	50	56	39	145	95
城北県営	8	18	36	32	95	68	28	191	96
上高木	98	215	273	252	241	177	68	486	245
川原屋敷	130	194	279	206	214	153	43	410	196
下高木	30	74	102	127	109	61	37	207	98
寄人	73	144	194	183	142	110	40	292	150
東高木	96	239	330	253	194	174	58	426	232
辻	95	149	235	151	191	154	45	390	199
日の出	5	16	18	20		2		2	2
	10歳未満	10-29歳	30-49歳	50-64歳	65-74歳	75-84歳	85歳以上		
合計	875	1473	2136	1610	1502	1130	447	3079	1577

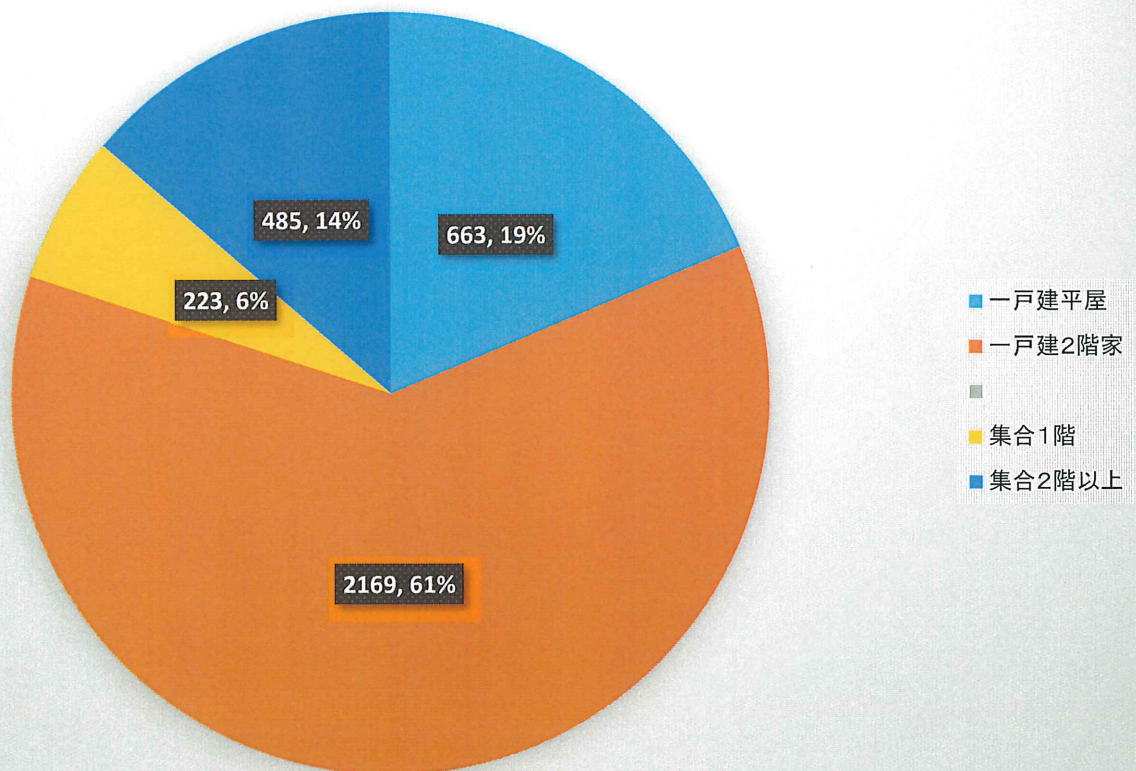
年齢区分別人数(年齢区分の幅に違いあり)



4 自治会別の住居形態別世帯数と75歳以上で独居及び2人暮らし

地区名/分類	一戸建平屋	一戸建2階	一戸建小計	集合1階	集合2階以上	集合小計	住居合計	75歳以上独居	75以上2人暮らし
坪の上	10	64	74	8	20	28	102	1	9
平尾	29	119	148	4	4	8	156	10	20
長瀬	63	162	225	1	0	1	226	14	25
小里	23	94	117	0	0	0	117	9	9
仲田代	18	38	56	3	2	5	61	4	6
上淵	6	16	22	0	0	0	22	0	2
城北	54	95	149	0	0	0	149	24	26
城北県営	0	0	0	50	157	207	207	66	13
上高木	91	365	456	20	31	51	507	34	74
川原屋敷	90	250	340	59	105	164	504	33	74
下高木	28	163	191	5	11	16	207	14	35
寄人	61	230	291	26	35	61	352	25	49
東高木	87	316	403	29	74	103	506	48	67
辻	103	257	360	11	18	29	389	36	62
日の出	0	0	0	7	28	35	35	0	1
	一戸建平屋	一戸建2階家		集合1階	集合2階以上		住居合計	75歳以上独居	75以上2人暮らし
合計 3559	663	2169		223	485		3540	318	472

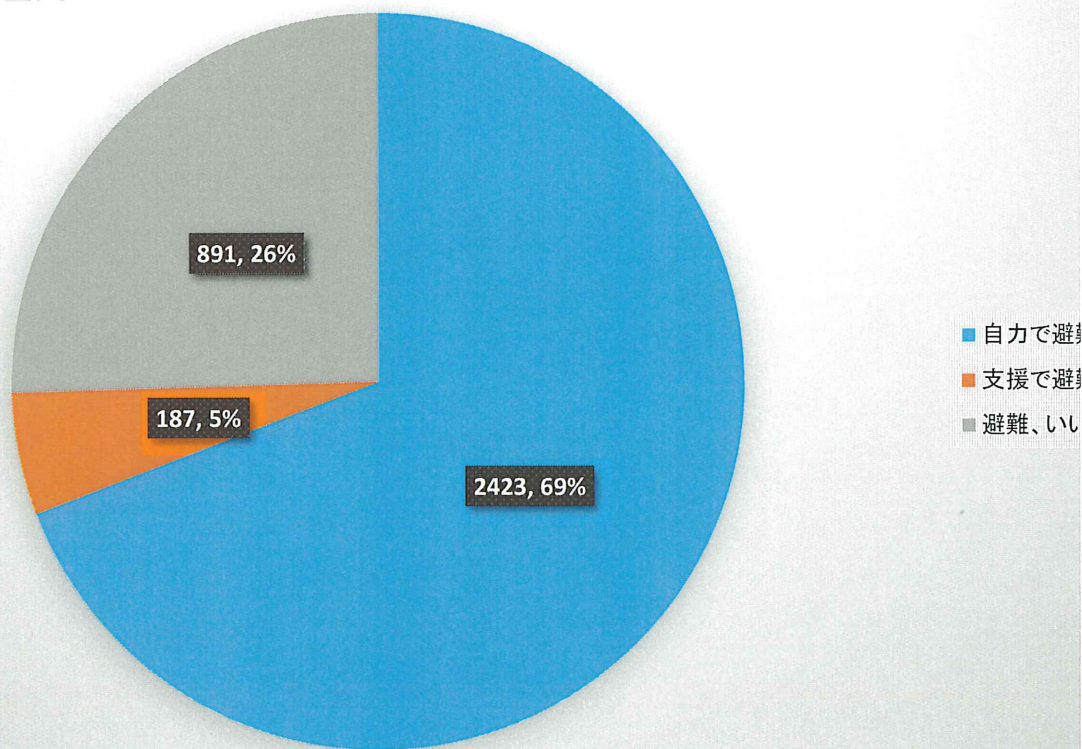
住居の形態別世帯数



5 自治会別の避難についての考え方世帯数

地区名/分類	自力で避難	支援で避難	避難、いいえ	小計
坪の上	60	7	35	102
平尾	104	4	48	156
長瀬	148	18	59	225
小里	78	1	36	115
仲田代	38	4	19	61
上淵	14	3	4	21
城北	104	9	37	150
城北県営	119	23	66	208
上高木	357	20	126	503
川原屋敷	358	27	114	499
下高木	147	6	47	200
寄人	241	26	79	346
東高木	381	21	95	497
辻	252	18	114	384
日の出	22		12	34
	自力で避難	支援で避難	避難、いいえ	小計
合計	2423	187	891	3501

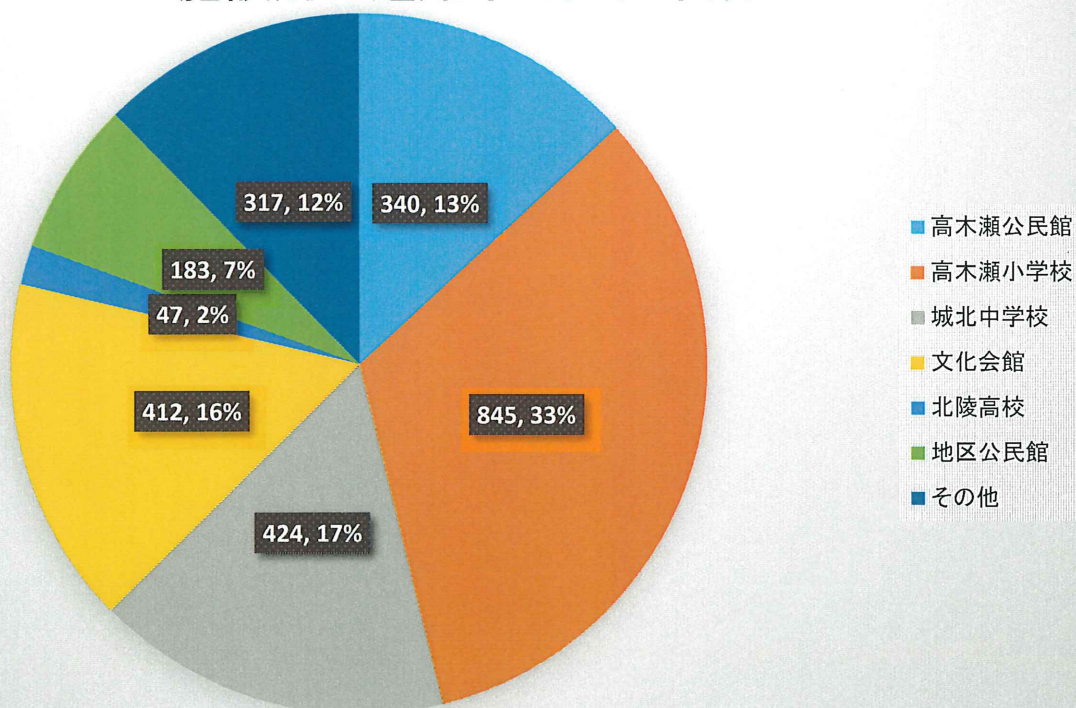
避難についての考え方グラフ



6 希望避難先として選択した施設別の自治会別世帯数

地区名/分類	高木瀬公民館	高木瀬小学校	城北中学校	文化会館	北陵高校	地区公民館	その他	合計
坪の上	21	33	1	2		3	7	67
平尾	15	36	2	2	3	29	20	107
長瀬	39	49	3	11	1	23	39	165
小里	10	31		7		20	9	77
仲田代	2	24		6		2	7	41
上漕		5	1	2		8	1	17
城北	10	63		2		11	27	113
城北県営	40	53	1	1	1	12	11	119
上高木	107	116	118	6		4	21	372
川原屋敷	33	20	227	5	40	12	46	383
下高木	8	23	58	44	2	2	17	154
寄人	15	188	2	13		13	33	264
東高木	27	101	7	209		27	32	403
辻	12	101	4	87		16	44	264
日の出	1	2		15		1	3	22
	高木瀬公民館	高木瀬小学校	城北中学校	文化会館	北陵高校	地区公民館	その他	合計
合計	340	845	424	412	47	183	317	2568

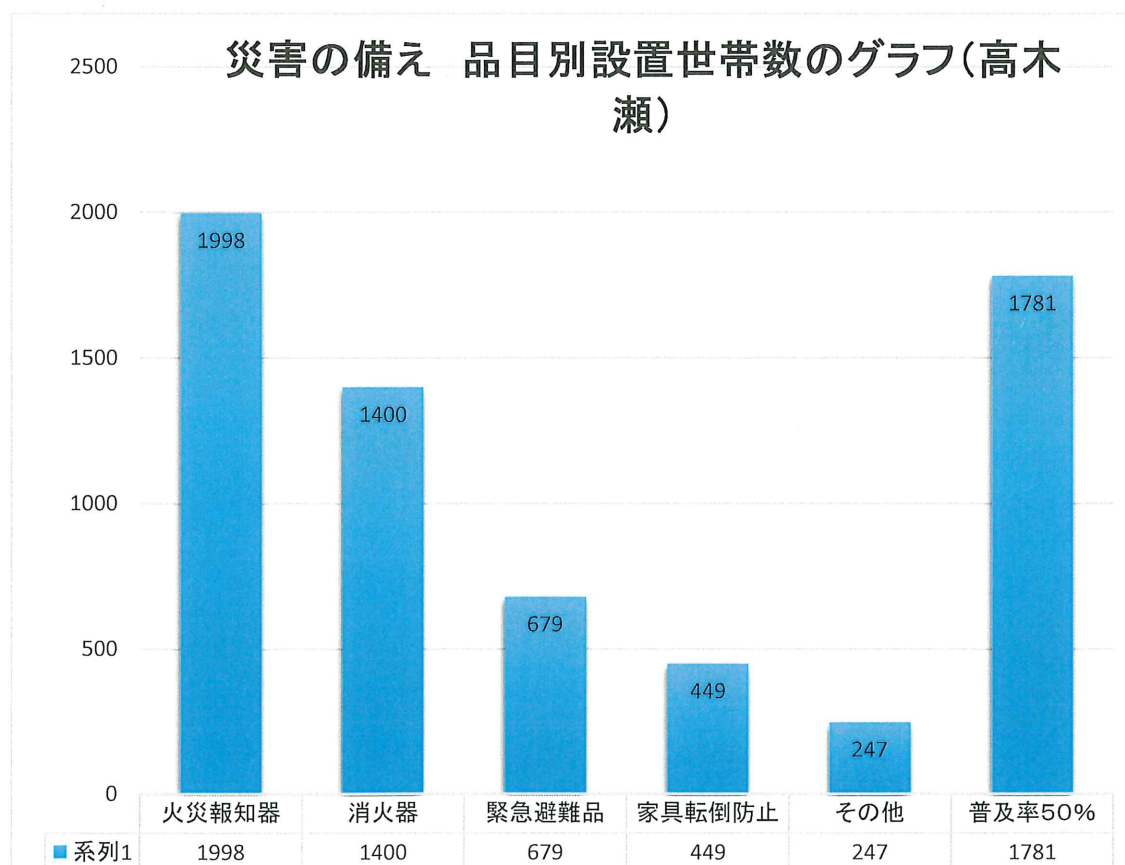
施設別の避難希望先世帯数



7 災害への備えの品目別、自治会別世帯数

地区名/分類	火災報知器	消火器	緊急避難品	家具転倒防止	その他		回答世帯数
坪の上	67	38	21	14	17		103
平尾	86	41	32	13	14		157
長瀬	131	68	40	27	7		226
小里	69	42	22	20	8		118
仲田代	30	20	13	11	5		61
上渚	8	11	3	1	5		22
城北	102	49	23	17	8		151
城北県営	210	210	16	11	9		210
上高木	246	166	121	68	32		513
川原屋敷	234	166	95	72	22		504
下高木	101	77	33	32	22		207
寄人	178	152	60	48	28		352
東高木	269	164	107	68	45		511
辻	232	161	88	45	20		392
日の出	35	35	5	2	5		35
	火災報知器	消火器	緊急避難品	家具転倒防止	その他	普及率50%	
合計	1998	1400	679	449	247	1781	3562
普及率(%)	56.1%	39.3%	19.1%	12.6%			

※県営住宅と日の出住宅は報知器と消火器を家主が設置



※自然災害にも種類があり、その種類によって日頃の備えや避難の考え方には違いがあると思います。

今回の防災・減災意識調査は、災害をひとくくりで質問したため回答困難だったと反省しています。

回答困難なこともあってか、自由意見には496件ものたくさんの記載をいただき感謝いたします。

ご意見をほぼそのまま列記することで記載への感謝といたします。文字数が多かった数件は要約しました。

- P1～P9 1人・2人世帯で75歳以上のいる790世帯からの意見 146件（記入率18%）
- P1～P9 1人・2人世帯で65歳～74歳のいる約810世帯からの意見 93件（記入率11%）
- P10～P11 1人・2人世帯で65歳未満の者のみの約410世帯からの意見 65件（記入率16%）
- P12～P17 3人以上の世帯のすべて1547世帯からの意見 192件（記入率12%）

1人及び2人暮らし65歳以上高齢者の意見(日頃の地域対策)	
85歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ○指をさして確認する ○ラジオ、電池など ○緊急避難用具の常備は不可欠であります 80歳以上の身体的経済的困窮者の把握を提言します ○高齢でひとり暮らしのため不安である
75歳以上 84歳まで	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢なので災害時いろんなことが不安 ○いざと言ったときは、冷静さを失う自分が思い浮かびます 今日から日々の生活に一呼吸入れて考えます ○家の内では火は一切使いません 冷暖房はエアコンで石油ストーブは使用しません ○台風で県営住宅の屋根瓦が飛んでますので建物の調査をして瓦止めして欲しいです 一番北側で生きた心地もしませんので台風前にぜひお願い ○気を付けていますがもしもの時はどうして良いかわかりません ○火を使用しているときはその場を離れない どうしても離れるときは必ず火元を切る ○災害時の備えができてないので、備えるよう心がけます ○テーマが大きすぎて明確な回答に迷います ○台風大雨時、災害時 窓ガラス一枚なのでとても不安、耐熱ガラスにして欲しい
65歳～74歳	<ul style="list-style-type: none"> ○今の団地の状況から自宅にいた方が安全と理解している ○予兆がわかった時は近所に声がけをする ○個人で火の元に気を付ける ○避難用具を準備しなければいつも思いながら出来ていないこと最低限の用具を用意したいと考えています ○日頃の危機意識は保持されるよう 自治会でも働きかけをお願いします ○水害の場合は今の住居が周りより高いので自宅に留まったが安全だと思えます 地震等で自宅が使えなくなったら避難します 地震では周辺の建物が壊れているだろうし道路が狭いので移動できるか心配です ○災害の種類によって行動は違ってくる 避難指示が出て内水氾濫の場合は自宅での垂直避難を選ぶ 住民の行動以前の問題として、この地区では少雨でも氾濫する箇所がある そのような場所の対策をとって欲しい ○我が家は(鉄筋)団地なので台風は下手に動かない方が良いと思ってます 2階建てには高齢者ばかりで台風の時心配になります、ご一考ください ○大変重要なことと思います ○災害が起こってからでは遅すぎる アンケート調査を今(7月)行うのは遅いのではないのでしょうか 結果を参考とするならばせめて半年前に実施すべき ○日頃より、ご近所の方と声を掛け合う ○寝るときは広い空間に寝ています(硝子戸や転倒する家具の近くを避けて) ○伊豆の土石流の被害をテレビで見ると自然の恐ろしさを感じる この辺りは水害に備えておくべきかと思う

1人及び2人暮らし65歳以上高齢者の意見（情報伝達・避難路要望）	
85歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者の1人暮らしです 避難指示が出る前に親族宅に連れていきます ○家の前道路 大雨で水位があるので歩けない ○農業用水路の板堰設置が原因道路が沈むことが年に何回もあります 86歳の私は近い将来歩行困難が予想されますので 減災のためには板堰の管理を的確に実施される事をお願いします
75歳以上 84歳まで	<ul style="list-style-type: none"> ○老夫婦です 知らせを待ってます ○避難すると書きましたが現実的に難しく、自宅2階への避難が優先と考えます ○夫婦ともに82歳 経験がないので不安 情報を早く知りたい ○現在まで避難指示が出されてもどこへ行けば良いか知りませんでした ○雨が降ったら 道路が冠水して通れなくなるので困っている ○災害時避難の道順が少し不便です 263号一本です ○一人暮らしで年齢80代いざという時「ヒナン」できるのかとても心配です
65～74歳	<ul style="list-style-type: none"> ○家の周りは避難する時に水が上がるのが多い、そして足が悪いので家にいる方がいいと考えます 側溝に土が溜まっているので上げてもらいたい ○夜に避難指示がでた時に声掛けがないと決心がつかないかもしれない 周りが暗いと状況がつかめない ○水路から道路にと冠水します 高木瀬小へ向かう道は毎年のように冠水しています 何とかならないですか ○防災減災などの講習会があればよい 避難訓練なども必要ではないのか？

1人及び2人暮らし65歳以上高齢者の意見（公助・避難所対策）	
85歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ○足が弱ってきているので近くの小学校でもむりです ○母(92歳)は床に座ること寝ることができません トイレも洋式でないといけません 避難所はそんな人たちにも対応して下さると安心です
75～84	<ul style="list-style-type: none"> ○徒歩で避難なので(避難先)①～⑥はすべて無理です 自宅から遠いので ○犬がいるため家から出ていけません ○商業施設 ゆめタウン、イオンなど避難場所に協力して欲しい 昨年の台風時などホテルが取れなかった
65～74	<ul style="list-style-type: none"> ○避難できたとしても人がたくさん集まり息が詰まるとか せいぜいペットボトル1本持参できる位 歩く、車、どちらも危険有りに思える ○避難場所の施設が不備がある 収容人数やトイレ等 ○室内犬がいるので場所を考えます

1人及び2人暮らし65歳以上高齢者の意見（共助・自主防災組織）	
85以上	<ul style="list-style-type: none"> ○避難時にはぜひ声掛け運動をしていただきたい ○常日頃から特に80歳以上高齢者宅に訪問されて親しく指導される市区の体制を整えてください
75～84	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者であわてず自治会長様の指示に従うまでです よろしくをお願いします ○安全な避難場所が考えられない ○高台がない 城北団地アパートの階段利用してもトイレと水が不安 ○年1回くらい演習を実行してください
65～74	<ul style="list-style-type: none"> ○避難の時は、声をかけて頂きますように

1人及び2人暮らし65歳以上高齢者の意見(日頃の地域対策)	
85歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ○緊急避難用具を早速準備しよう ○いつどうやって来るかわからないから日頃から1日1日を大事に過ごしてます ○避難しないと答えたのは、雨量が多い時など避難場所に行くのが大変だから 地区公民館だったら行けると思いますが雨量が多い時は無理かも ○災害にも天災と人災とがあります 天災は簡単には防げないと思うが人災は人の注意で防げると思いますが 人災による災害を出さない注意が必要 ○マンションに住んでおります まず大丈夫と思いますが一応災害の状況をお知らせくだされば幸甚です ○東高木地区は道路が水に浸かりひざ上まで位来ます 以前はあまりなかったように思います
75歳以上 84歳まで	<ul style="list-style-type: none"> ○どうしたら良いか不安 隣の娘と同じ行動したい ○災害大国日本 政治がやることはコロナ対策と災害対策、防災対策を一番にやることである ○問7の①～④全部必要ですね 改めて見直し、近々揃える予定 ○日頃の訓練が必要と思う 避難用具の種類をどこまですればよいか迷ってしまう、最低の品を知りたい ○水害の時は自宅に留まり 自身の時は家が壊れた場合避難します(文化会館) ○緊急避難用具を集めていましたが重くてとても運べません 最小限でさえ避難するには大変だと思いました ○ここまでひどくならないことを祈ります ○大雨の時、川が溢れて敷地内に水が入ってくる ○日頃の生活の中で緊急時に対応できるように準備だけはしております ○水の汲み置きは必ずしております ○まだ準備が出来ていない ○台風等数日前から分かっている時はホテルを予約して泊まる風で飛びやすい物は家へしまし、紐で結ぶ ○実感がわからないので、なかなか考えが至らない ○これからがんばってそろえて行きます ○2階以上のところへ
65～74歳	<ul style="list-style-type: none"> ○私の場合、有事の折 自力で避難なりすると思えます ○災害も地震、大雨等水害などがあり、それによって自宅にとどまるか避難所に行くかの選択があります ○日頃の備え、防災知識の啓蒙が必要と感じる ○今はあまり備えていないですが少しずつでも揃えて行こうと思っています ○この地区は水につかるだけです(命の心配はない、という意味?) ○家の周りの片づけをしっかりやる、家の中ではもしもに備えて準備を怠らないこと ○災害の内容によって避難するか自宅にとどまるかのどちらかです ○市の河川課が主管して公有水面の泥上げを機械を入れてやってもらいたい ○現状のままでは不安 ○自分は大丈夫だろうと思う気持ちが確かにあります それではいけないこともわかっています 緊急の時の連絡だけはしっかり取るように心がけます ○命を守る行動 ○大雨が降ったら集合住宅だからあまり動きたくないです ○リュックの中にタオル、着替え、保険証、薬を準備してます ハザードマップを玄関のそばに置いてます ○自家発電で水、電気も最小で ○防災に対する備えができていないと反省している ○台風などで水害になるのが心配です 身障者なのですぐには行動できない場合があります

1人及び2人暮らし65歳以上高齢者の意見(情報伝達・避難路要望)	
85歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ○防災に必要な準備するもの どこへ避難すればよいか書いたものを渡してもらうと助かります ○災害の際 担当者から各班長へ速やかに連絡して欲しい ○災害警報等の緊急通報システムはどのようにされているのか ○市の防災ムセンが聞き取り難い場合がある ○ラインによる佐賀市の情報を見る
75歳以上 84歳まで	<ul style="list-style-type: none"> ○公的機関よりの速やかな広報伝達 ○マイクの放送は大雨の場合聞こえにくいので高齢者は班で声を掛け合って避難所まで行動する様にしたらと思います ○防災、減災、災害発生時の情報発信、災害対応は → 行政、自治体 ○防災情報をこまめに聞かせて欲しい ○地区の防災放送が聞き取れない ○6月上旬NHKで川副町の校区公民館の取り組みを紹介していて参考になると思った 一昨年豪雨災害時の写真を校区災害マップに添付しイメージできる ○避難状況がわかるような何かを(旗など)家の入口に出す ○避難場所へはどの道を通って佐賀市文化会館へ早く行けるかを練習しておくこと ○スピーカーの内容が聞き取れない 停電時の避難指示の方法 ○避難を考える時、地区公民館や小学校へ行く途中に道路が水に浸かって歩行困難のところがある所あって心配 ○避難指示の情報の形をよく知りたい ○昨年の台風の時に小学校に避難させていただきました 我が家では携帯を持っておりませんので放送塔から知らせで早めに避難することができました
65歳～74歳	<ul style="list-style-type: none"> ○一人者はどうしていいかわからないから、その時は忙しいと思いますが班長様が電話してもらいたいです、よろしくお願いします ○災害時各階の人に声をかけて回る ○どこに避難するのが安全なのかを知りたい(避難所までの道路なども) ○近所で情報のやり取りをし、お互い協力し合うことくらいしか思いつかないが、車でのアナウンスは全く聞き取れないと思う ○情報伝達の手段を検討して欲しい ○職場でも毎月防災対策の話聞き検討していきます ○18班の裏の川が大雨の時溢れ道路が冠水するので、市の方で対策を考えて欲しいと思います ○テレビ、スマホで常に天気予報を見ている ○高木瀬小学校入り口付近がすぐに冠水する 近寄れない ○災害に対する緊急情報については、いつも対応できるように収集に努力したい ○アンケート結果は取りまとめられた後、公表をお願いします ○大雨の時は問5の場所へは行けない そこへ行く道路がすべて冠水する 細かな情報を教えて頂きたい ○災害の時放送が聞き取りづらい ○情報収集や状況把握は常に実施している

1人及び2人暮らし65歳以上高齢者の意見(公助・避難所対策)	
85歳以上	○日の出1丁目は佐賀市文化会館が近いので希望しますが(高木瀬小学校はやや遠いので)よろしいでしょうか。
75～84	○問5で示されている避難場所は一人で行くには遠い 又これらの避難場所は特に水害の場合は水に浸かることが想定され適切ではないと考える ○昨年9月の台風10号の際は避難場所満員のため受け入れてもらえず、市内ホテルetcもなく、東京まで避難、幸い大事に至らなかったが避難場所の人数把握をしっかり願いたい ○水がやって来た時はボート等も出動してもらいたい ○高木瀬の東のはずれに位置して避難場所があまりに遠い なぜ東名縄文館を避難場所にしないか不思議 ○問4は「はい」ですが健康状態を考えると自宅での垂直避難がベストと思います ○高木瀬の東のはずれに位置して避難場所があまりに遠い
65～74	○以前近くに中学があっても地区公民館に行ってください 城北中学校開放して欲しい ○避難場所の安全性が不確実(自宅より低地のところがある)文化会館に避難希望しますが経路の選択に迷っています ○高木瀬地区として独自の避難指示は出るのでしょうか？ ○ペットがいると避難がむずかしい

1人及び2人暮らし65歳以上高齢者の意見(共助・自主防災組織)	
85歳以上	○台風の時など近くの川原屋敷公民館に避難できたらと思います ○協力の心を忘れずに 自分のことは自分で ○何かあった時は 近所の方に 一人暮らしなので声をかけて頂きたい
75～84	○避難しなくてはならないときは 隣同士で知らせ合うようお願いします ○目が不自由 ご支援を ○年1回くらいは町内で避難訓練を実施されてはどうか ○近隣とのコミュニケーションを普段から心がける
65～74	○マンション内とかの小さな区分での防災活動も大事ではと思う ○近所への声掛け ○自力避難できない人を誰と一緒に連れて行くか決めたらどうでしょう ○近所の方と声をかけて車か徒歩か考えてみます

1人及び2人暮らし65歳以上高齢者の意見(日頃の地域対策)	
85歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ○水害の場合は垂直2階へ(公民館、中学校へは老人の足では行けないかも) ○自身の場合は頭上に注意しドアを開けておく 火の元に注意する ○水害、台風は事前に予報が出るから準備できるが、地震が怖い ○(この回答をすることが)一人暮らしの年寄りがいるっていう情報を悪用されないか不安。 ○老人一人が暮らしていますので災害の時はどうなることか心配です ○90歳以上では行動できない、障害者等軽い認知症もありますので ○90代の老人では避難指示が発令されても、昼の明るい時間帯であればかろうじて避難させることもできますが、夜に発令されても避難は不可能です ○団地で火災があった時、消防自動車が近づけなかったそうですが、中に入れる対策をすべきでないですか ○ 川の水位等を気を付けています ○テレビ等で気象状況確認 ○避難場所へ行くまでの道路が危険だと思います ○今年90歳の老人一人暮らしで、耳が遠くて災害が起こっていることに気づくのが遅れそうで心配しています
75歳以上 84歳まで	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校周辺の冠水がひどく、引き返した方がおられました ○水害が心配 前の道路が冠水する ○道路や側溝の水捌け 水路の護岸工事 ○火元にならない。高いところに積み上げない。風呂の水は常に半分くらい入れている ○想定される災害を示し、それに対応する方法の設問をしてください。例えば地震、洪水、大火災、台風など ○川に藻がいっぱいで少しの雨でも水が道に上がる。川掃除をしてほしい ○防災活動の基本を「自助のための活動」に重点を置くべきである ○災害時にはできるだけ自宅に留まりたいと思いますが、そのための防災用具等検討したいと思います ○近所に避難誘導する人がいない 側溝に土砂が入り込んで道路に水が溢れる ○事前の準備を必ずしておくことが大事だ (災害は忘れたころやってくるので) ○③の備えの方法が知りたい 問4の選択肢③緊急避難用具のことか? ○土嚢を公民館に常時40-50個置いて欲しい ○防災用具や水を貯える必要がある ○現下の近隣地形、建物立地環境から自宅以外にないと思う ○災害の少ない佐賀は防災意識が低いと思います いざという時のために防災教室、防災訓練など年1回程度実施されたらどうでしょうか ○一昨年の上高木地区の浸水で床下、車両の浸水に会い思いがけない災害でした早急の対策をお願いします ○川の側に家があるので水位がすぐく気になる 川のブロックが斜めに傾いているので崩れないか心配です
65~74歳	<ul style="list-style-type: none"> ○台風は考えますが水害はいまのところ考えていません ○安全な場所に移動したい ○河川の氾濫等がなくなるよう対策を ○防災グッズの購入斡旋 ○学校周辺の防水対策をして欲しい ○川の草を刈ってほしい ○側溝に落ち葉や土砂が落ちて排水が悪くなるのが考えられるので、ふたを最近使用されている金属製で小さな丸い穴の空いているものに変えてほしい ○小学校の南側の歩道(通学路)が大雨の時は冠水します 車道と歩道に段差があり危ないのでフェンスを付けて欲しい ○近所にブロックの倒壊の恐れがある

1人及び2人暮らし65歳以上高齢者の意見（情報伝達・避難路要望）	
75歳以上84歳まで	<ul style="list-style-type: none"> ○道路が冠水する恐れがある時はその事前情報と車の避難場所等の情報が得られると有難い ○一応リュック等ありますが、高齢者だけでなくいざという時持って逃げるかどうか心配です ○その時の状況で判断も変わると思います ○避難の時は声かけをして欲しい ○小学校までの移動経路と所要時間を把握しておきます(2～3通り)避難用具(帽子、手袋、飲料水等)身近に置いておくようにします ○自宅の周りが浸かったことは今のところないが、避難指示が出た場合文化会館や小学校への途中の道が浸かるので心配です。 ○水が来たときは小学校に行くあいだが危ないので家にいます、家の近くに高い建物が無いので家の2階にいます ○自宅から避難所へ行く途中冠水する場所が何か所もあるので、自宅の2階が安全だと思っています。 ○避難指示情報が発令された場合、水害で避難したいと考えても避難場所まで行く道路の確保を ○佐賀市のハザードマップでは大まかでわかりにくい。公民館、小学校、文化会館への避難路の浸水程度がわかる詳しいマップを ○ハザードマップを参考に、特に風水害時には気象状況(風雨)を勘案し避難場所に退避する。但し、退避する道路状況が悪いと思われる場合は、無理をせず自宅2階に留まる。
65～74歳	<ul style="list-style-type: none"> ○情報が確実に伝わるようにお願いします 小さなお子様や妊婦さん、体の不自由な方、高齢者の方などもスムーズに避難できますよう望みます ○情報を教えてほしい ○避難指示で「はい」と返答したが、避難場所までの道路事情により避難できるかがあり、不確定な要素も多くあると思う。 ○テレビ、ラジオによく耳を傾けておく 外からの注意声に耳を傾けておく ○水害の場合、土地が低くて水が溜まる場所を知りたい 避難する場合とても重要な問題です 例:高木瀬小学校前道路はよく水溜まる ○情報をどのように得るか 停電になるとテレビでは分からない携帯電話に頼る 緊急度合いが分からない

1人及び2人暮らし65歳以上高齢者の意見(公助・避難所対策)	
85歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ○避難場所が遠くて歩けません ○近隣に避難に適する施設がない
75歳以上 84歳まで	<ul style="list-style-type: none"> ○犬は連れていけないそうです ○昨年、台風の時高木瀬小学校に避難しました 一人暮らしなので助かりました 飲料水、軽い非常食等準備されありがたかったです ○令和2年の台風の時小学校にお隣の方に連れて行ってもらった。77歳の私にとって一番感じたのは大人用の紙パンツを穿いて行くことでした。トイレは思うようには使えないからです。 ○ペット同伴も考えてください ○高木瀬小学校や公民館の周辺は防災マップでは浸水する地帯になっているので水害の場合は避難しにくい点を考慮してください。 ○ペット(犬)との避難になるのでペットの入室確保して欲しい ○避難所を日常生活に近い環境にした場所とするように市や自治体はもう少し考えるべき。災害は我慢でない。「避難所学会」というものもある。 ○避難所の希望を高木瀬小学校にしたが、小学校前は冠水するので、水捌けもよい、耐震もある我が家の方が良いかを迷う。 ○35班Aの避難場所は直近の城北中学校を1次避難所にしてほしい ○避難所までが遠く自宅も古いので少々不安がありますが、近くの親戚の家にでも行きたいと思います ○緊急避難用として問5の避難施設にゴムボートを常設して欲しいものです ゴムボートは3名ほどの小型でよいかと思えます 組立や収納にも適する
65～74歳	<ul style="list-style-type: none"> ○自宅に犬や猫などを飼っている場合避難所には連れていけないので、動物と一緒にできる避難場所を作ってほしいです 動物を置いて自分だけ避難することはできません ○避難先は安全なんでしょうか ○去年台風の時小学校に避難したけど密の状態ですぐ寝てました 他でされているように仕切った段ボールなどを敷いて欲しい ○あらためて考えると、ここなら安全と思える避難場所がないなあと思いました 高木瀬小周辺は大雨の場合水が道路にたまりやすく危険だと思いますし、 ○避難所はクーラーもない ベッドもない 不衛生(トイレや風呂)自炊もできない 避難所では健康が保てない ○避難所は高木瀬小ですが大雨が降ったら表の道路が冠水するので避難場所として大丈夫ですか 学校に行ってはいいいが出られなくなったらどうしますか 学校前の道路が浸かるのは前からありました ○避難するつもりでいるがいざとなるとしないのでは トイレの問題が大きい各施設の状況が示されれば参考になる ○水害では避難場所まで行くことができないこともある

1人及び2人暮らし65歳以上高齢者の意見(共助・自主防災組織)	
85歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ○避難場所が遠くて歩けません ○高齢のため さそい合ってくださいをお願いします
75歳以上 84歳まで	<ul style="list-style-type: none"> ○道路が冠水する恐れがある時はその事前情報と車の避難場所等の情報が得られると有難い ○避難したことがないのでいざその状況になった時スムーズにできるか不安あり ○その時の状況で判断も変わると思います ○公共施設だけに避難するとパンク状態になるのではないかと、もっと近くにないかを希望する 年齢が高いと移動困難である ○洪水の時は自宅2階へと思っています ○水が来たときは小学校に行く間が危ないので家にいます、家の近くに高い建物が無いので家の2階にいます ○自治会の広報を参考にしています。 ○一人で歩くことができないので娘が不在の時不安です
65～74歳	<ul style="list-style-type: none"> ○確認を含めて定期的な訓練が必要ではないでしょうか 正直、頭でわかっているけど実行となると、、、？ ○団地全体で集団で動けるところは動けるように、話し合いで決めていたらいいと思います ○自治会での防災訓練等の実施で一人ひとりの意識を高めることが必要だと思う ○避難場所をもっと近くに欲しい 小学校は遠すぎる近くのケアポート晴寿園と協議会で協議してケアポート晴寿を避難場所指定できないか ○100—200棟単位で防災組織と防災用品(消火器、電灯など)セットを設置して毎年訓練を実施してください ○避難所が遠いので地区内で避難可能な施設を検討してほしい ○まずは近所の人々に声掛けを！ ○水害では避難場所まで行くことができないこともある ○自然災害等いろんな災害が多くなりましたが、生活していくうえでひとり一人がより深く関心をもって意識して行動することいろんなことを学んで災害に備え災害が起こった時には周り協力し合って行動できるようなまちづくりになればと思う

少人数で65歳以上のいない世帯の意見

日頃の対策

- 住まいを構えて20数年になりますが雨が降るたびに浸水が気になります
災害が必ずやってくるのであれば何とかして欲しいです
- 建物がトラックが通ったら揺れる、地震の際すぐに逃げられるか不安
- 会社でも防災訓練は常にやってますので問題ないです
- どうしたら良いのか不安、隣に住んでいる母と同じ行動をしたい
- 高木瀬校区のハザードマップを作る必要があると思います
- 住宅周辺の道路が冠水しやすい 工事して下さると大変ありがたいです
- 側溝が溢れやすいので整備した方がよい
- 地元で長く住んでいるが、特に佐賀のばあいは地震や津波の心配はしていない、
火事は地域に関係なく起こるので備える
- 日頃から近所で声をかけ合って協力して行きたいと思います
- 数年前武雄豪雨の時家前の道路も20cm程冠水しました 明らかにすぐにその川がはげきれず
の末の冠水でした その事象の検証、対策、工事等は行われているのでしょうか
市民としては川掃除したりしてるが限界があると思います
- 避難した経験がないので、今後も避難が必要な状況は発生しないと思ってる。
- 自宅は鉄骨なので、通常の災害(水害、地震)であれば、自宅(2階)で対応できると考えている
しかし断層が近くに走っていたり、近年の大水害を考えると近くの避難所への避難もあり得ると考え
その心構えはしている
- 大雨対策として排水路の整備、確保、点検、速やかな避難指示誘導、その役割の明確化
- 毎年災害が多くなっているの、少しずつ集めている
- 買い替えが必要になり面倒 (災害時の備えのことか)
- 火災の場合は、発生リスクを抑えるため、漏電対策をしてもらうために自治会に手紙を送付する
- 平尾→高木瀬公民館への道は冠水場所を通るので避難場所として適さないと思います
- 家にいない時も快適に過ごせるように、キャンプや車中泊をしている
- まわりに浸水深が深いところはないが、クリーク沿いは気をつけたい
- できるだけ車のガソリンを満タンにする様心がけています
- 一昨年大雨の際は指定袋に入ったごみやプラスチックなどが川と化した道路やクリークを流れて
いました せめてごみ集積場所のごみは流れ出さない構造にできないものかと思います
- 大雨が予想される場合に、班にポンプ等を貸して欲しい
- 3.11をきっかけに心がけるようになった 早め早めの行動をとっている
- 災害によっては避難する 水害は自宅にとどまるつもり
- 聴覚障害のある方や年配の方は、サイレンの音が聴こえず被害にあわれたりしたと聞いたので、日頃
の近所付き合いが大事だと思います コミュニケーションをとっていれば助かる確率は非常に高い
- 災害は必ず起こるものだから、常日頃意識することが大切だと思う
- 命を守る行動をしたい
- 情報は可能な限りチェックする 予兆予報を気にする
特に城北団地は冠水したら車での避難が困難になることを踏まえて備えるべきだと思います
- 周辺が低いので、大雨時道が川のようなになるので、避難が難しい場合もある
近くの親戚宅への避難は難しい 市、県には道路整備、クリーク整備を要望したい
- 年々増加する豪雨の際に、家や壁などで水路が狭い場所などは知っておかないと危険
- 背の高い家具は置いてない
- ここは4階建てなので下手に動くより安全だと思う 食料は準備しておかなければと思います
- 障害者がいます 支援をお願いします

少人数で65歳以上のいない世帯の意見	
情報、避難所への経路	<ul style="list-style-type: none"> ○水害の際避難経路にクレークも多く、たどり着けるか不安 ○ぎりぎりまで待ってみてどうしてもだめな時は近所の人に電話相談して一緒に避難しようと思います ○町内のアナウンスが聴こえづらい感じがします ○住んでいる地域の災害リスクを知ることが重要だと思います 又、必要な防災情報を自ら取得し利用できることも必要と思います ○特に準備はしてないが最新の天気やニュース、ハザードマップ、避難は把握している ○一時的な避難場所(できるだけ近い場所)を確保しておきたい 赤色灯や色で分かりやすく表示するとか ○校区単位のネットワークの構築が急務と考えます 情報収集はスマホで簡単にできるので若年層は問題ないが高齢者、特に独居世帯に重点を置くべきと考えます ○高木瀬小学校前の道路は水没するので避難しにくい ○去年の大型台風の折、避難場所の開放連絡が遅かったように思います すでにニュースでは言ってますので準備をいつでも行動できるという安心感が欲しいです ○家の周辺は大丈夫でしたが、以前大雨の時に東高木に近い方は道路が水没していました 目に見える形で、大雨時に水没した場所を表示するなどして、いざ大雨の時に現場で想像できる様に ○大雨の際、道路冠水が非常に多い ○特に分からないが 情報の発令が 外部スピーカーが聞き取りにくいそうです ○災害内容により避難場所へのルート選定や簡単な注意事項など地区ごとの張り付け案内紙が欲しい ○地区の防災 ライン情報があれば
避難所での対策等	<ul style="list-style-type: none"> ○去年の台風の時高木瀬小に避難しました、一人なので安心出来ました 文化会館が避難所になれば良いと思います ○避難した際ラジオなど情報が得られるものは持参しますが、携帯電話の充電ができるよう充電器を避難所にはなるべく多く設置してほしいと お風呂やトイレも気兼ねせず利用できる様にしてほしい ○避難指示の指標などあまりに近年情報が錯綜していて正直 なにがなんだか分からない ただ気候の変化には危機を感じている ○明確にどこの地区はどこに避難したらいいのかを決めて欲しい ○ペットがいる家庭はどうしたらいいのかも知りたい ○避難場所へ犬もつれて行けるのか？ ○高木瀬公民館は狭い、高木瀬小の校門付近は水があふれていたことがある 佐賀市文化会館は開放してくれるのでしょうか？ 高木瀬はすぐ水がジャバジャバと溜まる ○コロナ禍での避難生活は感染予防対策等 難しい課題があると思います ○避難所にプライベートスペースを確保して欲しい ○小さい子供がいる場合、公民館など集団での避難は難しい ○昨年1回避難しました(高木瀬小学校) もう少し近い所(城北中学校)がいいと思いました ホテルなども考えてTELしましたが空き室がなかった ○ペットを飼っているので、避難所の中に入れないと思うので、 結局車の中や自宅にとどまらざるを得ないかなとも考え、いろいろと不安です ○自宅に犬や猫などの動物を飼っている場合、避難場所には連れていけないので動物と一緒に避難できる避難場所を作って欲しいです 動物を置いて自分だけ避難することはできません ○災害時は車をつかえない場合を考えると なるべく近くに避難したいと思う ○ペットがいます(猫3匹) ペットと一緒に避難できるようにしてほしい ○老齢の両親が鍋島に住んでおり 災害時は両親と行動(避難等)を共にすることになると思います ○ペットを飼っています 動物アレルギーがある方と一緒に、避難所に行くことは厳しいと思っています ペットと一緒に避難できる場所の除法をいただけると助かります ○ペットの避難対策

3人以上の世帯の意見

日頃の対策

- いつ来るか分からない天災なので、今回避難用具をリュックサックに用意しようと思っている
- 自宅地域での助け合い(声掛け)安否確認体制が必要
- 東高木防災会の役員です 何かあれば、お手伝いできればお手伝いしたいと思います 奇数月に防災会議があるので参加して認識を高めたいです
- 駐車場が毎年何度も冠水して車の置き場に困ってます
- 今回の意識調査の設問が漠然とし過ぎていて、、 現在本当に困っている事は水害の際、毎年毎年東高木の信号周辺も浸水(本通寺南側の住宅地)する 10年以上前から市の河川課に相談してもらいがあかないです
- 防災グッズを用意
- 消防署(佐賀広域消防局)の体験施設などで学習してみたいです
- 水害に関しては河川の整備(護岸)、側溝捕手が必要
- 熱海の件でもそうですが、近隣住民との普段からの付き合いは有事の時こそ役に立つものなので、挨拶くらいはできないとなあ
- 一人住まいの高齢者に対して地域の住民が手助けできるように体制を整えておきたい
- 2階建てなのでまず垂直避難しますが、その後どうするかな?と考えたりします
ハザードマップでは50cm以下なので大丈夫ですかね
- 非常時の持ち出し品の準備が出来ていないので、準備したいと思います
- 今まで住んでいる地区で災害という程のものにあつたことがなく、意識していませんでした どのような用品を用意すべきか具体的なものを(数等)教えて欲しい
- 昨年台風時に避難しようとして準備したら荷物が多くて移動できなかった
- 近隣との日頃のつながりを大事にしていきたい
- 護岸の工事費用の補助はできないものか(「個人家屋」)
- 大雨の中移動するより2階にいた方が安全だと思っている 自宅周りが冠水しやすく少しの雨でも動けない
- (避難用品を)準備していたのに入れ替えでばらけ、準備を怠っていた 反省です
- 消火器の使用方法などわかりにくそう、いざという時使えるかが不安
- 避難用具の見直しを定期的にしなないといけない と思いました
- 95歳の足が不自由な年寄りがいるので自宅の2階に上げるのが大変、 なにかいい方法を知りたい
- 今後防災への準備をしていきたいと思います
- 衣類缶詰などはリュックに入れてはいるが、コロナでとても難しくなってきたので迷うことばかりです
- 水、食料品を多めに購入、キャンプ用品テントなど予備に保有
- 警報発表時には、通学はもちろん出社を控えるような自治体からの強い要請ができるような風潮になればいいなと思います
- 日頃の備えが大切なので、もっと真剣に取り組まないと と思います
- 可能な限り避難指示が出たら自宅に留まる予定(2階など)ですが、状況を見て ①or⑥に避難する予定
- 避難指示が出た時はすぐに避難できるように準備していなければならないと思います
- 野良猫に餌やりする人がいるので、災害時に猫がどうなるか心配
- 避難所について今まで行こうと考えたことがないので、どうしても自宅に留まる決断をしてしまうと思うので、地区住民と避難についてもっと話し合う機会があればと思います
- 前から防災対策は考えていたが、面倒くさいという理由で取り組んでいなかった いずれは、訓練等はやるべきとは感じている
- 付近の川が冠水するため、水害の場合は避難所よりも自宅の2階 に留まる方が安全であると考えてます 避難する場合のことも考え、持ち出すリュックの中身や連絡手段などを家族で話し合い共通認識を持つようにしています
- 避難するかは状況によると思うのでよくわからない
- 河川の清掃(泥上げ)は防災につながるのに市民任せは市の怠慢ではないでしょうか
- 避難所はその時の状況で考えます
- 土地開発が進み水田の減少など地域の水害被害の程度も変わっているかと思います 昨今大雨も増えてきている中で、市と県の連携した治水事業に期待しています
- 浸水の原因として河川等の水深の浅さがあると思います 私の横のクリークは泥が多く、そのため大雨が降ると冠水ギリギリの状況です クリークを整備する必要があると思います

3人以上の世帯の意見

日頃の対策

- 自助、共助がベースになると思うので、各自治会や班単位で防災や減災の説明会を行って意識を高める
実際の行動に結びつけるべきではないか
- 用水路の氾濫は防げないのか 以前起きた豪雨の時怖かった
- 緊急に備えて準備していこうと思います
- 高齢の両親を抱えており何かあったらまず2階の娘夫婦の部屋に避難させる予定です 自宅が2世帯
住宅で2階にもトイレも風呂もあり他へ避難するよりも安全と思うから
- 当地区の地理的特性から防災対策としては浸水被害の対策をまず検討すべき 世帯数に対して避難
場所(高木瀬小、城北中、高木瀬公民館)の収容能力が小さく全員避難は考えられない 従って各自
自宅の2階避難を原則とし平屋「避難を含めた対策」を検討すべき
- 水路から雨水冠水などを生じないように日頃から水路の点検や整備をお願いします
- 佐賀は災害が少なく県民の防災減災に対する意識が低いと思われます 避難指示が出た時に各家庭へ
の連絡などどのようになっているのか忘れていた部分も多いので頻りに発信して欲しい
- 災害の種類によって対応は異なると思います 公園の一角にに備蓄庫を設けてはどうでしょうか
- いつ起きるか分からないので非常食等も準備しておこうと思う
- 家族で災害が起きた場合の避難場所を決めている
- どこにあるのか把握してない(災害時の備えのことか)
- 土嚢などの準備はしている(床下浸水を防ぐため)
- 近所同士互いに声掛けをする
- 日頃から防災に対する意識を持つことが必要
- 消火器の無料配布があればいいと思う
- 排水路(道路に面して住民が掃除できない)の水詰まりを解消して欲しい
- 早め早めの対策をと、
- 大雨の時はクリークが氾濫し怖いです
- 毎年生活道路で50センチくらいの浸水に見舞われて悩んでいる 有効な方法はないものか!
- 水害の場合、一時滞在施設の充実を望みます
- 各家庭が防災についての用具又は準備を日頃から用意しておくことが大切だと思う
- ベトナム人なので防災放送等に素早く反応して避難することは難しい 会社の方で状況をしっかり把握
し指示を行っていきます (会社の方による記入)
- 地震等による断水が心配です 私は雨水タンクを設置しました普及することを願います
トイレが使えないと大変です
- 子供の通学路ではブロック塀が古く、亀裂が入っていたり傾いているところもあり、不安です
- 高木瀬小学校周りの道路の冠水がひどいので、帰宅できないことが度々発生している
集中的に雨が降るといつも心配している
- 防災マップの作成ありがとうございました 自宅の避難用具の近くに貼っています
この10年程でも地震、水害がありましたので、身近に感じ気を付けて対策しておかないと、と思ってます
- 家の周りは高台ですので あまり深刻に考えたことはありませんが 万が一の場合は、みんなで避難を
します
- 高齢者が増えるなか、いざ行動となると不安がある
- 家の前の川はまだ氾濫したことはないが、これから予想以上の雨が降ることを考えると心配だ
車などはどこに避難させればいいのか
- あまり意識は高くないです
- 日頃から、テントなどをそろえて自分で何とかできるよう備えています
- 防減災として、高木瀬の地域が浸水地域から外れるようになればと思います 素人の考えではありますが
水路が多いので普段から清掃や水路の拡大等等、また高齢の方もいらっしやるので避難時等、なにか
手助けさせて頂ければと思います
- 近所に一人暮らしの高齢者はいないものの「老・老」の世帯が増えつつあり、その方々のサポート体制等
知らないのが不安

3人以上の世帯の意見

情報、避難所への経路

- 避難路の安全を考えて欲しい
- 実際に被災した方の話を聞く機会を設けてもらいたい
- 高齢者は避難する考えがあまりない
- 避難場所は夜間でもすぐ行ける近いところを決めてください 小川(クリーク)が大雨の時すぐ道路に冠水するので心配です
- 市や自治会で安心して無料で駐車できる公共とか地主さんとか事前に決めて欲しい
- 水害の場合、周辺の道路の水位が上がり通行不能の場合、早めの告示がされれば大変助かります
- 小さい子供がいるので、いざという時の避難が悩ましいです 支援して欲しい場合、どこに連絡すべきか 情報収集をして備えなければと思いました
- 避難先はそのときの状況で決めたいと思います
- 洪水や地震など災害によって避難場所は違ってくると思います 洪水では道路が冠水するので動けない、
- 避難所への移動に危険を感じます
- 大洪水の際の避難経路に不安あり
- 台風、大雨等最近増加傾向にあると思っています 防災・減災に敏感になりたいと思います
- 豪雨や地震の際は河川や建物密集地を避けて通る避難ルートを示した防災マップがあったらと思いました
- これまでの大雨時に感じたことですが町内放送の音が聞き取りづらい(小さい)こともあり、もう少し大きくしていただけたらと思います
- 防災の放送が聞こえない 誰が教えてくれるのでしょうか
- 本格的に住民の状況を把握するには、記名で家族構成や避難支援が必要か否かなどの記入が必要です 年度当初の世帯表に避難支援の要否を入れるとか検討を
- 大雨の時、高木瀬小の前の道路も浸水するのが気になります
- 防災放送が響きすぎて何を言っているか、近所なのにわかりません 避難場所が公民館か小学校か早めに連絡が欲しいです、高齢の方は車がないと大変です
- 同じアパートの人に避難する際は一言伝えていきたいと思います 備えをしっかりと準備したいと思います
- 誰でも、何処に住んでいても、すぐ避難という事は自宅周辺の事情に左右されると思う ひとくりに避難は困難が多い、各家族の構成も考えねばならないことです 高木瀬小周辺もかなり危険だと思います
- 毎年同じ場所が冠水します 手立てはないのでしょうか
- 信頼のできる情報を発信して欲しい
- 車いすなので避難は難しい
- 避難希望場所の設問があるが、災害時にはその場所に行く道路状況が把握できない等の問題があるので、設問をもう少し細かくしてください
- 避難経路を教えてくださいと有難いです、小学校でも公民館にしても最短で行くとすると住宅街を通るのではと思うので
- 正確な情報提供、収集
- 高木瀬小学校も避難場所になっているが、校門のところは大雨じゃなくてもすぐに浸かるので避難できないと思います、避難場所とするならば浸水しないような改善が必要だと思います(すでに取組なら済みません)
- 早期の情報の発信を希望します
- 自宅から避難場所まで遠すぎるし、途中がかえって危ないです
- 避難場所が近所なので行っても被災リスクは変わらない気がするので、どこへ行けばいいのか分からない。
- 大雨の場合はハザードマップ自宅付近の浸水状態の確認をしている 又大雨時は国交省のHPやテレビで「雨雲の動き、今後の雨などを確認している
- 防災放送が聞き取りにくいことが多い
- 高木瀬小が避難場所にあげられているが、水害の場合その回りが冠水している場合があるので行けません 移動手段が車の場合を考えると渋滞が考えられ避難場所までが大変のように思えます 平尾の場合どこに避難がいい との情報があれば参考になる
- 大人1人の時に幼児2人以上連れての避難は現実的に不可能
- 避難するか指示情報が出て避難した方がいいのか判断が難しかった 近所の人には誰も避難している感じがしないと大丈夫かと思ってしまう
- 何かあれば高木瀬小学校への避難とも思うのですが、水害の時には高木瀬小学校の前の道路が冠水して大変なので 今後治水計画を何とかしていただきたいです

3人以上の世帯の意見

情報、避難所への経路

- 高木瀬小が避難場所に指定されているのに大雨時に冠水して通れないため改善して欲しい 今後どう考えているのか
- 情報の正確さと指示を早めに確実に知らせて欲しい
- 早めの連絡をお願いします
- 高木瀬はハザードマップに地震が来る可能性や津波の来る可能性が低いと書いていたのですが、本当なのか
- 地域の情報を早く知り早め早めの行動をする
- 地区の方で、高齢者、体の不自由な方の把握を常に 地図他作成して持ち出し確認できるようにしててください 近所への声掛けはできますが余裕がない時はわが身のみになりそう
- 周囲の状況を見て避難するかしないか 適切に判断できるようにしないといけないですね
- 独居高齢者など自治会、民生委員などの人的ネットワークを日頃より密にして安全と安心な対応が行えるよう情報共有を図っていただくようお願いいたします
- 公的機関からの防災情報は重要ですが、その情報が自然と入って来るのをただ待つのではなく、自ら積極的に情報を取りに行くという姿勢も必要だと思います
- ハザードマップがない
- 小学校周辺はすぐに冠水するので、近くにある総合体育館や文化会館の方が建物も頑丈だし、すぐに避難が可能なので、家族と話し合っている
- テレビ又はラジオ等の情報並びに自治会等の指示に従う
- お知らせ放送がはっきり聞き取れない 犬の鳴き声で前は内容の理解が出来なかったです
- 情報収集が早くできるかが肝要
- 高齢で歩行困難のため、どうして避難したらいいか心配
- 防災無線が車の音などで聞こえません 青パトが走っていますが何を言っているのか分からない 一言二言しか聞き取れない
- 大雨によって周辺の水路がいつ頃あふれ出しているのか、近くに住んでいないため 判断が難しい
- TV等のニュースと現場は温度差があるために地域ごとに避難が必要な場合は、(スピーカー)放送とか避難誘導をしてくださる人がいてくだされば、ありがたいです。
- 時々有線放送？が 発せられることがあるみたいですが、内容が全く聞き取れません 災害に関するものであれば、もう少し改善が必要かと思えます
- 高木瀬小の北の住居です 溝は大きくしてもらいましたが道路はかなり浸かります避難時に心配です
- 大雨の場合、小学校へ行く道が浸水してしまうので、自宅にいた方が安全なのかと思えます 公民館は平屋なので
- 携帯電話などの災害情報を活用したい
- 高木瀬小学校の周囲は冠水しやすいので、避難の時間帯を考えないといけないと思う
- 高木瀬公民館へ(狭い所)避難は無理、小学校に避難した時備品等は備えてあるのでしょうか 高木瀬の場合は自宅が安全では？
- 場合によっては、自宅に留まる方が安全なこともあるかと思うので、その時々で判断すると思えます
- 災害の状態を見て避難したいと思います
- 避難情報の発令が本当に避難しなければいけないレベルなのか悩みます
- 引っ越してきたばかりだが防災マップが分かりにくかった(地図含め) 水害の時と地震の時では逃げる場所も違うと思います ここらでは浸水しやすい場所などを明確にされれば助かるなと思いました
- 避難場所が高木瀬小となっていますが、学校前が大雨時冠水するので少し不安があります
- 発令されたらまず家族の命を守る行動をとりたいと思えます
- 防災のために情報の伝達がどの様に整備されているか不安です ラジオ、テレビ、電話(携帯を含む)ありますが、車による広報、地域の拡声器など今日まで経験がないが？
- 大雨の時は外の放送が聞こえにくく、どう対応していいのかわからない時があります スマートフォンなどで上記の内容が確認できるようになると有難いです。(twitter等でも十分)

3人以上の世帯の意見

避難所での対策等

- ペットと一緒に避難できる場所があればと思う ペットも家族の一員 そう思っている方は多いと思います
- 市指定の避難場所に拘らず、自治会で自治会内のふさわしい施設(民間企業等)と協定して避難場所を確保する努力を望みます 市の施設は遠かったり不便だったりでいざという時の役に立たないところが多いので
- 避難所にはどんなものが用意されているのか分からず、いろいろ考えると荷物が多くなる
- 幸いにもこれまで避難したことはありません
- ペットと一緒に避難したい場合はどうしたらいいですか
- 家族に肢体不自由者がいるので移動が大変です 避難所での医療体制、設備(トイレ、室温、吸引等)に不安があるため避難は難しいと考えてます その辺の考慮を進めて頂ければありがたいです
- 地元の公民館がいいですが、物資が届かない事があると思うので仕方がなく高木瀬公民館にしました
- 避難所よりも自宅の方が標高が高く広い道路にも面していて安全が確保できる自宅から避難所へ移動するときに被災する又は孤立する可能性が高い
- 避難する時に文化会館が近いのでそちらに行こうと思います
- 小学校より文化会館が空いていれば避難する
- 地震であれば自宅待機、水害であれば避難します
- 避難所の周辺の浸水が住宅の周りより早いで、大水の場合は少し違うと思います
小学校の周りの浸水が早いのは対応をしていただきたいです
- 地区公民館、天満神社がすぐ近くにありますが、地区で良いと云うことです
- 近くにはビルの病院等がありますが一時的な避難場所にお借りできないでしょうか当地区からは指定の避難場所が遠いために
- 避難先の建物が何階建てか分からないため、判断がつかない
- 幼い子供がいると避難先への移動や避難先での生活にも不安があります 状況により決断することになります
- ペットがいるので避難できないのかな、..
- 今回問5は③の4城北中学校と希望したのですが、実際は避難の確実性がないので不安です
持っていくものや場所などイメージしやすい様にできないでしょうか
- 避難指示情報の精度の問題(レベル) 本当に避難したらキャパがないのが分かっているのに、どうするのか
- 避難所の周りが冠水していると避難しづらく危険だと思います
- ペットとの避難可の情報が欲しい
- 空気発電地を各避難所に配備されると安心です(TELWEL西日本で取り扱いあり)
- ペット同行OKの場所があるのか?
- 近郊に民間商業施設があり高台の方に避難すると家族で意見統一している
- 前回の台風時高木瀬公民館に直接訪ねても、今回は対応しないと伝えられた(貼紙で)
- コロナ禍であり避難所に人が集まりすぎ、密な状況をつくってしまわないか、避難所で感染が広がらないか
- もう少し近い所に欲しい (避難所のこと?)
- ペットがいるので誰かが家に残ることになります
- ペットがいる人は避難する際に預かってくれる施設があると助かるし、避難しやすい
- 合成洗剤や柔軟剤のニオイが他の人の衣類などから発せられ、息もできなくなる化学物質過敏症患者は
避難所でコロナ対策の除菌・抗菌の製品使用などで体調を悪くすることもあります、ご理解ください
- 避難所にトイレが少なく、高齢者にとってはそれがストレスになり、具合が悪くなりそう
- コロナ禍の中、人口に対しての避難所の収容人数が厳しいのでは 場合によっては自宅に留まった方がいい
- 子供がいるので、子供と避難しやすい所があれば助かります

3人以上の世帯の意見	
日頃の対策	<ul style="list-style-type: none"> ○冠水道路の場所が決まっている 要改善 ○クリークの排水能力を上げて欲しい(河川課) ○災害は忘れたころにやってくるので、常に頭の片隅に留めておく ○避難指示情報が出たとしても家には車も車の免許もないので歩き 自宅にいた方が安全だと思っている 水や食料は早めに購入している、それ以外はどうすることもできないので、自宅にいるしか方法はない ○一人暮らしの方など声かけて、一緒に避難したい ○日頃特に考える事はないですが、一番は水害に備えたく思います 予報に注意し高い建物に避難したい ○外へ出ることが危険だと思えば自宅待機もあります ○仲田代地区は交通量が増えてきており、東高木地区から兵庫地区への通り抜けをやめて欲しい 地区の児童も増えており、危険である ○田舎では自宅でゴミを燃やしている家庭がまだまだ多いです 燃やさないでゴミ袋に詰めて処理してもらいたいです ○隣近辺などへの声掛けが大事だと思います ○近くの一人暮らしの方は、対応は ○緊急避難訓練及び消火器使用の講習会を、各自治会等ごとに年1回程度定期的を実施してもらいたい ○油断なし、注意深くする、判断力を的確にする ○現在想定外の災害が多数起きているので 他人事ではないと怖いので 防災もっと見直したいと反省しました ○家族での防災意識を高めていきたいと思います ○防災訓練をする際は城北地区で実際に起こり得る状況を想定して実施した方が良いと思います 地震や水害など実際にどこに避難できるのか住民への周知の方法を まち協で検討していただきたい ○高木瀬東6丁目に住んでいますが道路の浸水箇所が多すぎます 水路の整備等水害対策を行ってください また、空き家の管理が不十分で火災の原因になる恐れがあるため空き家対策にも力を入れていただきたい
3人以上の世帯の意見	
情報、避難所への経路	<ul style="list-style-type: none"> ○子供が小さい頃の避難バッグをどうすればいいか分かりません ○緊急エリアメール受信が可能な家庭と不可家庭を把握しておく必要あり 近隣の連絡確認網を予め設定しておく必要があるのでは？ ○テレビ、ラジオ等の情報、SNSでの情報を収集して対応している ○避難するのはいいが、そこまで誰が移動させるのか 各家共自分達の事で精一杯では、そこまで考えるべき